

ネイティブスイートアーモンド β -グルコシダーゼ

Cat. No. DIA-195

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 ベータ-グルコシダーゼは、2つのグルコースまたはグルコース置換分子（すなわち、二糖類セロビオース）を結ぶ β 1- \rightarrow 4結合に作用するグルコシダーゼ酵素です。これは、セルロースおよび関連する多糖類の分解に関与するセルラーゼの一種であり、より具体的には、さまざまなベータ-D-グリコシド基質に特異的なエクソセルラーゼです。これは、ベータ-D-グルコシド中の末端非還元残基の加水分解を触媒し、グルコースを放出します。

用途 この酵素は、炭水化物の構造調査や、臨床分析において α -グルコシダーゼと結合した際の α -アミラーゼの酵素的測定に役立ちます。

別名 EC 3.2.1.21; ゲンチオビアーゼ; セロビアーゼ; エマルシン; エラテラーゼ; アリル- β -グルコシダーゼ; β -D-グルコシダーゼ; β -グルコシドグルコヒドロラーゼ; アルブチナーゼ; アミグダリンアーゼ; p-ニトロフェニル β -グルコシダーゼ; プライメベロシダーゼ; アミグダラーゼ; リナマラーゼ; サリシリンアーゼ; β -1,6-グルコシダーゼ。

製品情報

由来	スイートアーモンド
外形	淡い黄色の非晶質粉末、凍結乾燥された
形態	フリーズドライパウダー
EC番号	EC 3.2.1.21
CAS登録番号	9001-22-3
分子量	approx. 110 kDa
活性	グレードII 10U/mg-固体以上（約50%のBSAを含む）
混入物	α -アミラーゼ < $5.0 \times 10^{-4}\%$
等電点	7.3
pH安定性	pH 6.0-9.0 (25°C, 64時間)
最適pH	5.5
熱安定性	50°C未満 (pH 7.3、1時間)
最適温度	50-55°C
ミカエリス定数	$2.8 \times 10^{-3}\text{M}$ (p-ニトロフェニル- β -D-グルコピラノシド)、 $3.3 \times 10^{-3}\text{M}$ (2,4-ジクロロフェニル- β -D-グルコピラノシド)
構造	酵素1モルあたり2つのサブユニット
安定化剤	牛血清アルブミン (BSA)、グルタチオン (還元型)

保管・発送情報

安定性 -20°C で少なくとも6ヶ月間安定（6ヶ月以内に 5°C で約10%の活性低下が発生する可能性があります）

